鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第18部：テルル定量方法―第２節：電気加熱法	G1257―18―２
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第19部：ひ素定量方法―第１節：電気加熱法	G1257―19―１
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第２部：りん定量方法―モリブドりん酸抽出間接フレーム法	G1257―２
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第20部：セレン定量方法―電気加熱法	G1257―20
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第３部：ニッケル定量方法―酸分解フレーム法	G1257―３
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第４部：クロム定量方法―酸分解フレーム法	G1257―４
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第５部：モリブデン定量方法―酸分解フレーム法	G1257―５
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第６部：銅定量方法―酸分解フレーム法	G1257―６
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第７部：バナジウム定量方法―酸分解フレーム法	G1257―７
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第８部：コバルト定量方法―酸分解フレーム法	G1257―８
鉄及び鋼―原子吸光分析方法―第９部：チタン定量方法―酸分解フレーム法	G1257―９

２．改正された日本工業規格

転がり軸受―動定格荷重及び定格寿命	B1518
転がり軸受―円筒ころ軸受	B1533
転がり軸受―円すいころ軸受	B1534
転がり軸受―自動調心ころ軸受	B1535
転がり軸受―スラスト自動調心ころ軸受	B1539
かさ歯車のバックラッシ	B1705
歯車装置の受入検査―空気伝ぱ音の試験方法	B1753
鋳鉄製管フランジ	B2239
ねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手	B2301
ねじ込み式鋼管製管継手	B2302
切削用超硬質工具材料の使用分類及び呼び記号の付け方	B4053
超硬質合金ソリッドストレートシャンク―ボールエンドミル―形状・寸法	B4118
刃先交換チップの呼び記号の付け方	B4120
刃先交換チップ	B4121
歯車用ホブ―第１部：むくホブの形状・寸法	B4354
模型によるポンプ性能試験方法	B8327
油圧用フィルタ性能評価方法―第３部：フィルタエレメントのつぶれ又は破裂試験	B8356―３
空気圧シリンダの附属金具寸法―第１部：スフェリカルロッドアイ―１ＭＰａシリーズ	B8403―１
空気圧シリンダの附属金具寸法―第２部：ロッドクレビス―１ＭＰａシリーズ	B8403―２
油圧―圧力スイッチ―取付面及び取付寸法	B8667
電気絶縁用ワニス試験方法	C2103
エナメル線用ワニス	C2351
電球類の口金・受金及びそれらのゲージ並びに互換性・安全性　第１部　口金	C7709―１
電球類の口金・受金及びそれらのゲージ並びに互換性・安全性　第２部　受金	C7709―２
電球類の口金・受金及びそれらのゲージ並びに互換性・安全性　第３部　ゲージ	C7709―３
照明器具―第１部：安全性要求事項通則	C8105―１
道路照明器具	C8131
アーク溶接装置―第６部：限定使用率アーク溶接装置	C9300―６
電動アシスト自転車―設計指針	D9115
一般用自転車	D9301
自転車―リヤキャリヤ及びスタンド	D9453
ワイヤロープ	G3525
グリース	K2220
鉄鉱石―バナジウム定量方法	M8225
情報技術―サービスマネジメント―第２部：サービスマネジメントシステムの適用の手引	Q20000―２
アルミニウム製加熱調理器具	S2010
ガス機器用迅速継手	S2135
ガスコード	S2146
自動車窓ガラス用フィルム	S3107

（内容省略）

備考　内容は、日本工業標準調査会ホームページ（http://www.jisc.go.jp）において閲覧に供する。また、経済産業省産業技術環境局基準認証政策課、各経済産業局及び沖縄総合事務局経済産業部においても閲覧に供する。

日本工業標準調査会の調査審議を経て、平成25年11月20日に下記の日本工業規格を廃止したので、工業標準化法（昭和24年法律第185号）第16条の規定に基づき公示する。

平成 25 年 11 月 20 日　　経済産業大臣　茂木　敏充

記

廃止された日本工業規格

往復動内燃機関―性能―第７部：出力コード	B8002―７
往復動内燃機関の性能に関する圧力計測方法	B8006
往復動内燃機関の性能に関する温度計測方法	B8007
別置き形強制通風式空冷凝縮器	B8617
標準コンデンサマイクロホン	C5515
電子管用語	C7102
自転車―フレーム	D9401
自転車―前ホーク	D9402
鉄及び鋼―原子吸光分析方法	G1257
構造用耐候性熱間圧延鋼板及び鋼帯（ＩＳＯ仕様）	G7102
冷間圧延電気めっきぶりき（ＩＳＯ仕様）	G7121
冷間圧延電解クロム／クロム酸化物めっき鋼板（ＩＳＯ仕様）	G7122